



高志台

学園だより

高志台(こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、「こしのくに」(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台(こうしだい)」と命名しました。

CONTENTS

卒業生・修了生に贈る言葉	02-03
さよなら高志台(卒業生・修了生)	04-09
さよなら高志台(留学生)	10-11
さよなら高志台(退職する教職員)	12
卒業生・修了生表彰・進路状況	13
専攻科だより	14-15
TOPICS	16



独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
Nagaoka National College of Technology

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

卒業生・修了生に贈る言葉



卒業・修了おめでとう

校長 渡邊 和忠

長岡工業高等専門学校を卒業・修了される皆さん、おめでとうございます。長年にわたってご子弟を支え、見守ってこられたご家族やご関係の方々におかれましては、感慨もひとしおのことと、お慶び申し上げます。教職員一同、保護者ならびに関係の方々と共に皆さんの門出をお祝いできることに無上の幸せを感じております。

今年度、学科を卒業するのは、機械工学科 39 名、電気電子システム工学科 36 名、電子制御工学科 37 名、物質工学科 41 名、環境都市工学科 35 名の合計 188 名です。また、専攻科を修了するのは、電子機械システム工学専攻 21 名、物質工学専攻 9 名、環境都市工学専攻 7 名の合計 37 名です。卒業生・修了生のなかには留学生 7 名が含まれております。

卒業、修了される皆さんは、ここ「高志台」で過ごした年月を振り返って、どのように感じているでしょうか。技術者として必要な能力を身につけることができたでしょうか。一生の友はできたでしょうか。良い先生、先輩に巡り会えたでしょうか。悔いのない学生生活を送ることができたでしょうか。私たち教職員は、皆さんが、将来、社会で活躍できるようにとの想いを胸に、苦楽を共にしてきました。皆さんは、授業や実習、研究室での研究を通して、自主的に考え、時に応じて必要とされる専門知識や技術をどん欲に吸収し、駆使する力を得てきました。また、課外活動、寮生活、社会活動、学生会活動、教員や先輩、仲間との付き合いを通して人として立派に成長してきました。皆さんは、知らず知らずの内に、技術者として必要な知識や技術、心構え、積極性、自主性、忍耐力を身につけたはずで、社会に出て、あるいは大学等に進学して初めて、長岡高専で蓄えた力が役立っていることに気づくことでしょうか。一方、足りないことが沢山あることにも気がつくことでしょうか。足りないことは、研鑽を積んで克服すれば良いのです。高専時代に厳しい勉学に耐えたことを思い出し、自らの力を信じれば容易に克服できるはずで、私たち教職員は、皆さんが長岡高専で過した数年間で今後の人生に必要な力を得ていると確信しています。何故なら、長岡高専はこれまで多くの優秀な人材を輩出してきた実績があるからです。新潟県内でも多くの長岡高専の卒業生・修了生が活躍し、地域産業を支え、地域の活性化に大いに貢献し

ています。皆さんが長岡高専で学んだことを活かせば、社会で活躍できることの証です。

高専の教育は、産業界から高い評価を得ています。海外でも日本の高専制度を導入する動きが加速しています。現在のモンゴルの文部科学大臣は、日本の高専卒業生です。高専の優れた教育に感銘を受け、モンゴル政府は日本の高専をモデルに昨年、三つの高専を創設しました。また、モンゴルの学生を日本の高専に派遣することも決定しています。産業界や国は、皆さんの先輩方が日本の産業を発展させ、支えて来たことを良く分かっているのです。

全国では毎年約一万人が高専を卒業・修了しています。長岡高専の卒業生・修了生はもちろんのこと、高専卒業生・修了生は、出身の高専は異なっても連帯感を持ち、強い仲間意識を持っています。留学生、そして海外で創設される高専の卒業生も含めて、全国、全世界に仲間がいるのです。互いに連携し、ネットワークを活かせば大きな力になります。高専卒業生・修了生の大きな財産です。是非、憶えておいて下さい。

もう一つ、皆さんの心に留めておいて欲しいことがあります。世界に目を向けて下さい。グローバル化の波は止まることはありません。皆さんのお父さん、お母さんの時代には、必要がなかったかも知れませんが、皆さんが社会で活躍する時代には、必ずや国際化への対応が求められます。海外に赴任するかも知れませんが、自分たちの製品を海外の人たちに知ってもらい、チャンスを広げる必要も出てくるでしょう。外国人と一緒に仕事をすることもあるでしょう。実際、大企業だけでなく、この地域の比較的規模の小さい企業も既に海外進出を始めています。避けて通ることは不可能です。ならば積極的に世界に目を向け、力をつけ、チャンスを得ようではありませんか。皆さんに出来ないことはありません。皆さんは、高い志を持って、これからも研鑽を積み、揺るぎない実力を蓄え、自らの夢を叶えて下さい。私たち教職員は、これからも皆さんの後輩を立派な人材に育てることに尽力して行きます。共に世の人々に夢と希望を与え、活力に満ちあふれる国を創ろうではありませんか。

私たち教職員は、皆さんの人生において最も大切な成長の時を共に過し、喜びや苦勞を分かち合えたことに心から感謝しています。皆さんが元気で活躍してくれることは、長岡高専に関係する全ての者にとって大きな喜びであり希望です。これからも、私たちの心は常に皆さんと共にあります。皆さんのこれからの人生が実り豊かで、幸多きものとなるよう心から願っております。



卒業・修了おめでとう

後援会長 古田島 智裕

皆さん、卒業、修了おめでとうございます。

今まで学生を支えていただいた保護者の皆さん、無事に今日を迎えられたことをお喜びのことと存じます。おめでとうございます。そして、大変お疲れ様でした。

さて、卒業・修了生の皆さんは5年、または7年の長岡高専での学生生活を終え、一部の方を除いてこの高志台を去ることになります。これまでの学生生活、いろいろなことがあったと思いますが、その全てがこれからの皆さんの大きな糧となることでしょう。

本科で約7割、専攻科で約4割の方が進学するということで、その方々の最終学歴には長岡高専の名が残りませんが、皆さんには長岡高専のDNAがしっかりと引き継がれています。このことを誇りに思ってください。とは言え、皆さんはまだまだ発展途上です。これまでの学生生活で得たことだけでは、これからの人生を歩んでゆくには十分とは言えません。このことを胸に刻み、これからもいろんなことを学び、経験してください。

アベノミクスによる景気回復が実感できない日本において、工学を学んだ皆さんに期待されていることは、何でしょうか。いろいろな意見はあるでしょうが、私は国際競争力の強化・復活に寄与してほしいと思います。

電気料金の値上げや円安による原料費高騰で、日本の国

際競争力は低下する一方です。このような状況で必要なことは、新たな技術開発や技術改良だと思います。しかし、それは一朝一夕では出来ないことは既に分かっています。でも、皆さんには時間がたっぷりとありますので、その時間を有効に使い研究・開発、改良が出来るはずですよ。

私の職場では研究・開発はありませんが、業務の変革・改善に力を注いでおり、そのやり方は今後の皆さんの参考となると思いますので、ご紹介します。

キーワードは、

- ①過去に学ぶこと。特に失敗に学ぶこと。
- ②しかし、過去に囚われないこと。
- ③有効なアイデアが出ない場合、ブレイクthroughイノベーションよりもリッチなイミテーション。

具体的には、

- ①問題を徹底的に分析し、原因を浮き彫りにする。
- ②対策を検討し、5W1Hを明確にしたアクションプランを策定する。
- ③目標を数値化し、対策を実行する。
- ④進捗・成果を見える化する。
- ⑤定期的にレビューする。

P(計画)、D(実行)、C(評価)、A(改善)のサイクルの先頭にR(調査)を加えたマネジメントサイクルです。今のところはピンと来ないかも知れませんが、いずれ参考にさせていただければと思います。

皆さんの自由な発想が日本の明るい未来を創ることを心から願い、お祝いの言葉とします。

本当におめでとう！



新たな旅立ちへ

同窓会長 伊藤 恒彦

今春それぞれの新たなステージへ旅立つ卒業生の皆さん、この日を待ち望まれたご家族の皆様から心からお祝い申し上げます。

今年の卒業生の皆さんは、在学中に東日本大震災を経験するとともに同時に発生した日本では経験した事のない重大な原発事故を見ることとなりましたが、このことは皆さんがこれから歩む人生にとって貴重な財産になると思います。

さて、皆さんを取り巻く環境は、原発事故以来大きなテーマとなっている日本のエネルギー問題、頻繁に起こる自然災害への対策そして老朽化するインフラ再整備等々多くの課題が山積しています。

そんな中、経済対策を最優先に展開した結果、ようやく株価も上昇、景気にも回復傾向が見られる中、原油価格の下落、急激な円安などの新たな不安材料が起きている事も事実であり、経済成長を止める事なく進めるため、今後の経済対策に期待したいと思います。

また、昨年日本の科学・技術の分野において、大変すばらしい出来事がありました。

皆様もすでにご存じの事ではありますが、青色発光ダイオードの発明により、名城大学の赤崎教授、名古屋大学の

天野教授、カリフォルニア大学の中村教授がノーベル賞を受賞したことは、日本の科学・技術力は世界に誇れるものであり、これからも世界に誇れる多くの科学者、技術者が生まれるものと期待しています。

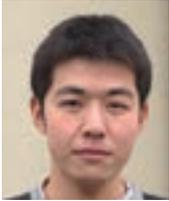
しかし、グローバル化する社会においては多くの変化が起きており、科学・技術の分野においても例外ではありません。その中で生き抜いて行くには自らが先んじて変わっていく必要があります、それには変化を的確に捉え、より早く変化に対応できる能力が求められるのではないのでしょうか。

皆さんはこれから専攻科、大学へ進学する方、就職され社会に出られる方と、それぞれの道に進むこととなりますが、自分で選択した新しい道に自信を持ち、迷いなく、悔いを残さぬよう歩んでいただきたいと思ひます。

新しい道では、いくつものハードルを越えて進むこととなりますが、高志台で学び、過ごした皆さんは、ハードルを越えるために必要な知識やコミュニケーション能力は十分備わっているものと考えています。

最後に、高志台から巣立つ皆さんが、自分の力を信じ新たなステージで高専卒業生として活躍されますことを期待すると共に確信しています。

皆さんの新たな旅立ちにあたり、『健全なる精神は健全なる身体に宿る』の言葉を贈り、お祝いの言葉とさせていただきます。



さらば長岡高専

伊藤 正太郎

初めての寮生活で金曜日を一日千秋の思いで待っていた入学当初から5年が経過し、ついに卒業を迎えることになりました。高専生活に慣れるにしたがって帰省の回数が減り、今では長岡を第二の故郷と思っている自分があります。卒業を目前にして、寮や学校で過ごす何の変哲もない日常が自分にとってとても幸福な時間であったと感じています。

高専での5年間は大切な人たちに囲まれた毎日でした。学校行事や日々の生活で共に大騒ぎした仲間達、学業面で私によい刺激をくれた友人達、学園祭演劇で私に迷惑をかけられても最後までついてきてくれたメンバー、隣で私の研究をちゃかしながらも適切なアドバイスをくださった先輩方、卒業後の進路を考え直すきっかけを与えてくださった先生など、挙げれば枚挙にいとまがありません。

皆さんのおかげで、私は楽しい思い出と成長した実感と共に卒業できます。最後にこの場を借りて今までお世話になった方に感謝を述べたいと思います。ありがとうございました。



あつという間の高専生活

大橋 敦

5年間という高専生活、入学前は長いなあと思っていましたが実際に振り返ってみるとあつという間の出来事でした。勉強で苦しんだ思い出から楽しい学校行事などの大小さまざまな出来事がありました。そして高専での生活は初めての学生寮での生活でした。入寮前は初めて会う人との親元を離れての生活ということでとても緊張していましたが、気の合う友人や親切な先輩方のおかげですぐにその心配はなくなり、寮に慣れていきました。寮での生活は、違う学科の友人ができたり、同じ学科の友人に勉強を教えてもらったり、友達で集まって遊んだりとても楽しい日々でした。

振り返れば短い高専生活でしたがたくさんの思い出が残り、非常に充実した日々でした。5年間自分を支え続けてくれた家族、自分と一緒に苦楽を共にした友達、自分を教え導いてくれた先生方、本当にありがとうございました。卒業して就職した先での生活でもこの思い出を胸に立派な社会人になれるよう頑張っていきたいと思います。



ご卒業おめでとうございます

1～2学年クラス担任 大湊 佳宏

皆さん、ご卒業おめでとうございます。1・2年の担任を終えた後も皆さんの活躍をうわさに聞くたびに、嬉しく感じておりました。学校で受け入れる準備が必要だったあなた、妙高の研修で倒立したまま腕立て伏せをしていたあなた、部活の仮入部の時泣きながら寮に帰れないと言ってきたあなた、5月のクラスマッチの最中に調子に乗り過ぎたあなた、担任と同じ病気で入院したあなた、長岡高専のロゴを作ったあなた、なぜかヘルメットをロッカーに隠し持っていたあなた、英語ができないのに最終的にはオランダにまで行ったあなた、ここでは言い尽くせない程の思い出があるあなたたちが卒業していくのですね。正直担任していた時は毎日が必死でしたが、そんな私でも皆さんの踏み台の役割を果たせたでしょうか。土台がしっかりしている程人は高く飛べるそうです。卒業おめでとう。



飛躍をお祈りし

3～5学年クラス担任 吉野 正信

卒業おめでとうございます。5年間で、知識も社会に対する考えも大きく変化したのではないのでしょうか。実感できる方は幸いです。

今年の新年の経済3団体の代表の記事を紹介します。現在の豊かさを維持するためには、現状に安住せず改革し、世界との競争に打ち勝っていくしかないと言っているようです。儲けを出せる事業に組織を変革し、メーカーなら生產品を変化させ社会の変化を追いかけるといふより、社会の需要を作り出していくような開発を行わないと、個人としてのモチベーションも社会としての若さも保てなくなり、経済的に衰退していくと言ってらっしゃいます。世界と戦う技術者にならんことをお祈りしています。

骨を埋むること、何ぞ墳墓の地を期せん





高専での生活

五十嵐 達生

まさかもう一度、学園だよりの原稿を書くことになるとは…。これも、何かの縁です。なので、高専生活での出来事を振り返ってみます。

まず、忘れられないのが部活です。4、5年の2年連続で全国高専大会に出場できたこと、今年度地区大会で優勝した瞬間は今でも忘れられません。また、学園祭の演劇に毎年参加し、多くの人達と関わってきたことも自分の中ではいい思い出です。

クラスでは、5年間クラス委員を務めることに。正直、こんな人間がクラス委員で良かったのか、上手くやっていたか不安でした。今思い返すと、クラス委員らしいことを全くしていないような気がします。それでも、このクラスで、クラス委員をして良かったと今は思います。

この5年間、多くの人達と関わってきました。今まで関わってきた人達への感謝の気持ちを忘れずにこれから生活していきたいです。また、これから自分のできることを一杯やり遂げるように日々努力をしていきたいと思います。



未来へ向かって

木下 堪太

5年前の4月、初めて会う仲間たちや学校生活に不安を抱きながら入学したことを昨日のように思います。普段の付き合いからクラスでの行事の参加、様々な付き合いを経て喜びや苦しみを共有することができて本当によかったです。定期テスト前にわからないところを教え合ったり、夜遅くまでトランプで盛り上がったことを今でも鮮明に思い出すことができます。ともに過ごしてきた仲間との別れは悲しいものがあります。しかし、次に会った時に胸をはって互いの成長を喜びあうことができるように努力することが大切なのだと思います。

高専生活はとても多くの人に支えられて過ごしてきました。進路で悩んでいるときに相談にのってくれた先生方。私たちにアドバイスをしてくれるために来校して下さったOBの方々。精神的に支えて下さった家族。苦楽を共にした仲間たち。今の自分があるのは周りの皆さんのおかげだと胸をはっていうことができます。5年間経験したことを胸に、大学でも努力していきます。



さよなら高志台

1～2学年クラス担任 佐藤 直紀

卒業、おめでとうございます。

君たちが入学した2010年度は、2011年3月に東日本大震災が起り、我々の今まで持っていた価値観がいろいろな意味で大きく変わってしまった年でした。津波に備えた防波堤や原子力発電所に対する安全神話が崩れ、今でも大きな問題となっていて将来のためにはどのようにすれば良いのか、判断することが難しい状況が続いています。しかし、科学技術に対する不信があるかといえば答えは「ノー」です。科学技術によって災害によるダメージを最小にすることは可能であり、今後の（ひょっとしたら永遠の）課題です。その可能性と課題の解決には、君たちの若い力に大きく期待しています。これからの復興や東京オリンピック開催に関係した仕事をする人も多はずです。それぞれの場所で仕事や勉強を頑張ってください。そして、幸せも掴んでください！



社会のお役に立てる人に

3～5学年クラス担任 竹内 麻希子

ご卒業おめでとうございます。

どんな5年間を過ごせましたか？ 1年生で科目を受け持ち、1年ぶりの再会となった3年生の始業式の日のは今でも鮮明に覚えています。日を重ねるごとに、年月が経つごとに成長していくみなさんの姿を見ることが、私の毎日の楽しみでした。

私が3年前にお話したことを覚えていますか？ 専門的なことはそれぞれの専門分野の先生方にお任せしましたが、社会のお役に立てる人になって行って欲しい、一般常識を身につけて行って欲しい…それが私の願いでした。

この先、みなさん方には楽しみだけではなく、色々な苦しみや困難も待ち構えていると思います。そんな時は深呼吸をしてみてください。そして、生まれてきたことに自信を持ちましょう。人との繋がりを深めましょう。そこから他のための行動に踏み出してみましょう。





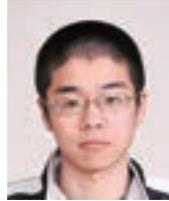
忘れられない一生の思い出

松村 悠生

高専に入学して早5年、気付けば卒業の時期です。楽しいこと、悲しいこと、辛いこと、人には言えないあんなこと…いろいろな出来事がありました。ここで今までの5年間を振り返ってみようと思います。

入学当初、周りを見ても顔も知らないアカの他人だらけ、最初の目標は友達を作ることでした。それから4年生まで、親しい友人も増えひたすら遊ぶ毎日が続きました。趣味ができていろいろなことに挑戦したのもこの時期でした。そして5年生、進学のための勉強や卒業研究などやることが多くとても短く感じました。友人達と出掛けた翌日、目を覚まし記憶の欠落と共に猛烈な頭痛と吐き気に襲われたのも今となってはいい思い出です。

こうして高専での5年間は瞬く間に過ぎてしまいました。かけがえのない友人、様々な経験、忘れられない一生の思い出など高専生活で得られたものは自分の中で大きな存在となっています。最後に、自分と関わってくれた皆さんへ感謝の気持ちを示し締めとさせていただきます。「今までありがとう」。



さよなら高志台

石橋 潤也

入学した当初はこれから長い5年間が始まると考えていた高志台での生活。今となってはあつという間の5年間だったなと思います。長いようで短い5年間で私が一番考えてきたことは自分の進路についてでした。この5年間で私は多くの人と関わってきました。入学から今まで一緒だった仲間だけでなく、別の高校へ進学した中学の同期、自分で進路を変更し編入していった仲間。そのような自分とは違う道を進んで行った人たちを考えて、「もし私がその人と同じ道を選んだら」と考えたことが何度もありました。「私もそっちの道を選べば良かったかな」と考えたこともあります。それでも今は「この道を選んで本当に良かった」と感じています。それは5年間の生活の中の楽しかったこと辛かったことなどの全ての思い出が他の何にも変えられないくらい大事なものであったからです。そんなかけがいのない思い出をありがとう高志台。そしてさようなら高志台。またあいにきます高志台。



卒業おめでとうございます

1～2学年クラス担任 占部 昌蔵

皆さんが本校に入学してから早や5年が経とうとしています。5年前、妙高での合宿研修のバス車中での皆さんの元気の良さに驚いたことから始まり、文化祭でのクラス企画の斬新さや遠足での調理時におけるチームワークの良さ等、行事ごとに感心したり感動したりすることの連続でした。

さて、この4月から、皆さんの大半は新しい環境に身を置くことでしょう。そこでは、今までの経験で得た価値観が通用しないことや理不尽なことに直面することがあるかもしれませんが、前向きな気持ちを持って新たな価値観や理不尽なことを受け入れてみて下さい。そして、豊かな心を持った「長岡高専卒の」技術者になって下さい。

最後に、皆さんが幸多き人生を送られることを願っています。



明るく、元気に、前向きに!!

3～5学年クラス担任 皆川 正寛

卒業おめでとうございます。君たちが入学してきた時、私も長岡高専に赴任してきたばかりでした。それが、気が付けばもう卒業ということで、月日の経過の早さに驚くとともに君たちの成長を大変うれしく感じています。

5年間の高専生活はどうでしたか？終わってみれば楽しかったですか？それとも辛いことばかりでしたか？いい友人はできましたか？これから君たちは進学、あるいは就職とそれぞれの道を歩むこととなりますが、高専生活で学んだ事が様々な場面で活かされる時が必ず来ます。多くの不安や困難に直面することがあると思いますが、どうか高専生活で培った知識・経験を活かして、“明るく、元気に、前向きに”をモットーに、様々な事にチャレンジしてもらいたいと思います。失敗しても大丈夫。これからが本当の勉強の始まりと思っ、力強い一歩を踏み出して欲しいと願っています。





卒業に際して

長田 剛

高専への進学を意識し始めたのは中学2年生の頃でした。いまよりもっと自由に、人と違った高校生活を過ごしたい、いま自分がいるところとは別の世界に行ってみたいという単純な動機でした。そして入学から5年が経ったいまも同じようなことを感じています。

正直、高専生活で本当に大変だったり苦しんだりしたことは特にありませんでした。入学当初、どんなにきつく、自分にはついていけないと思うようなことが待っているのか、それを乗り越えていけるのかと考えると、不安ではなく高揚感や期待感のような気持ちがありました。そういう意味では今となっては少し物足りなかったとも思います。しかし、そう思えたからもっと別の世界に行こうと考え、大学に進学して中学生のときから思い描いていた留学も実現させようと決心でき、ずっと向上心をもって生きていこうと思えました。

私を肯定してくれた人も否定してくれた人も、全員との関わりが自分のためになったと感謝しています。ありがとうございました。



感謝！

平岩 真一

卒業も間近になり、私はこの5年間なにをしてきたのだろうと思返すことが多くなりました。そういうときに驚くのは、私の思い出の中で学校行事などの大きな出来事が日々の思い出と変わらないように感じる時です。

私は学校行事などに対して決して積極的に動くような人間ではなかったとっていて、学校でのイベントの思い出が日々の思い出の中に埋もれてしまうのもきつとその所為だと考えていました。けれど、友人達と「あの頃に、あんなことがあったよな」という話をしているふと、その考えは違うな。と確信にも近い思いを抱きました。今思うに、一瞬で過ぎ去っていった一つ一つの日々の思い出が、大きなイベントと同じくらいに私の中で大切なものになっていたのでしょう。

この5年間は20年間生きてきた私の人生の中で一番密度の高い時間になったと感じています。たくさんの思い出をくれたみんなに感謝を！



「思い邪なし」！

1～2学年クラス担任 猪平 直人

卒業おめでとう。学生を送り出すこの時期は、毎年少し複雑です。まして今年とは……君たちと過ごしたこの5年間を思うと、語りたことは切りがありません。

現代は「認めない」ことの弊害がつるのばかりです。君たちも今日までたくさんの「認めてもらえない」経験を重ねてきたことでしょう。一人ひとりに問題がないとは言いません。ただ、私はそれでも「君たちは素晴らしかった！」と声を大にして言いたい。君たちといるとき私がいつも感じていたのは、君たちの「心の温かさ」でした。君たちの持つ基本的な心の善良さや明るさこそが、実は社会を温かく照らす、得難い宝なのだと思う。

君たちの輪に包まれていた日々は、疑いなく幸福な時間でした。本当にありがとう！君たちの人生の行く手に、これからも多くの喜びが溢れているよう、切に祈っています。



卒業おめでとう！

3～5学年クラス担任 細貝 和彦

学生のみならず、卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、ご息女およびご息女のご卒業おめでとうございます。

3年生から、担任を担当しましたが、前担任の猪平先生に全面的に助けられながら、ちょっとした担任の2人制をとりながら、本年度の物質工学科の卒業生を見守ってきました。猪平先生の1年生からの丁寧な指導および引き継ぎ等もよりよく出来ていたようで、安心の中で学生に接していけました。また学生さんも、各自、その時その時でいろいろな悩み事などがあったとは思いますが、何とか卒業までたどり着けたこと、うれしく思います。これから、新しい世界で、そして立場を変えて勉学なり、仕事なりをこなしてゆくことになる皆さんにとって、高専で学んできた一つ一つの事柄が活かされていくことを、切に望んでいます。





5年間ありがとう

金子 悠

期待と不安で入学した学校生活も終わりを告げようとしています。長いようで短かった5年間には楽しい思い出や辛い思い出など、たくさんの思い出が詰まっています。

特に辛かった思い出は製図。期限までに提出するのが大変だった。今だから言えることだがほかの授業をサボって必死に書いていた。また、構造のテストは何回再テストを受けたのかわからない。しかし、明るく笑顔が絶えなかったクラスで過ごした日々。実験の課題や実験の結果を仲間と分担し、相談しながら必死にまとめ上げたレポートの数々。困った事やわからないことがあると一緒に考え、教えてくれた友達や先生方。今となってはどれもこれもよい思い出です。5年間頑張って、高専での生活を過ごすことができたのもクラスみんなや先生方のおかげだと心から感謝しています。本当にありがとうございました。

春からは、また、新たな環境での学校生活が待っています。長岡高専で得たものを忘れずに頑張っていきたいと思います。



門出の言葉

難波 佑弥

つい5年前、15歳の初々しい私がこの長岡高専に入学をしました。新しい学園生活に右も左も分からず、只々毎日過ごしていた私。そんな私にもいつのまにか気の知れた友人ができ、頼れる先輩ができ、可笑しい後輩ができていました。今、自分の周りを見回せばやけに殷賑としており、当時の不安は全くの杞憂だった事を改めて感じています。思えば楽あり、苦もあった学園生活。持ちつ、持たれつ、持たれつ、持たれつ…。様々な経験の中、多くの人からの支えによってここまで来ることが出来ました。

そんな私もこの4月から初々しい社会人となります。きつとまた新しい生活に戸惑い、右往左往することでしょう。社会人という新たな立場となり、今まで以上に悪戦苦闘することでしょう。それでも、いつかこんな風に振り返れば、かけがえのない思い出となる事を教えてくれた友人や先輩、後輩、先生方、そしてこのような機会を頂けた事に感謝をし、進んでいこうと思います。本当にありがとうございました。ではまた。



ご卒業おめでとうございます

1～2学年クラス担任 鈴木 覚

卒業おめでとうございます。そして卒業ありがとうございます。私が担任を務めていた期間、みなさんには学校生活にふさわしい環境を提供することができませんでした。申し訳ありません。それにもかかわらず、みなさんはきちんと学校に来て、通常通りの学校生活を続けてくれました。それが私にはとてもありがたかったです。みなさんのそうした姿が私の心の支えとなりました。担任を終えてからは、めったに会うこともなくなりましたが、みなさんのことはいつも気にかけていました。無事に卒業まで辿り着いてほしいとずっと願っていました。ようやくその日を迎えることができ、みなさんには、卒業まで辿り着いてくれて本当にありがとう、と言いたいです。卒業後、みなさんの進む先は様々かと思いますが、みなさんの幸せをこれからも祈り続けたいと思います。



これまででもこれからも大切に

3～5学年クラス担任 井林 康

みなさんご卒業おめでとうございます。卒業後はそれぞれの新しい場所で、そして新たな気持ちでの活躍を願っています。5年間（人によってはそれ以上）の高専生活で学んだことは人それぞれかと思いますが、教室で学ぶ授業の内容は、学んだことのほんの一部でしかありません。部活動、学生会活動、寮生活、学校行事などの学生生活全てで、嬉しかったこと、楽しかったこと、辛かったこと、悩んだこともあったと思いますが、楽しかったことは年月が過ぎてもよい思い出になり、苦労したことは一生の経験になります。先輩・同級生・後輩、先生と会話したことも、後々役に立つことがあるでしょうし、何年も経ってから、改めてありがたさに気づくこともあるでしょう。これまでの思い出と人間関係、そしてこれからの思い出と人間関係を大事にしてほしいと思います。





高専での7年間

電子機械システム工学専攻（機械工学科出身）
松村 峻平

高専に入学してからの7年間を振り返ると本当に印象深かった出来事がたくさん思い浮かびます。入学当初は環境の変化に戸惑い、上手くやっていけるだろうか？と不安を感じることもありましたが、寮での生活、個性的なクラス、バンド活動を通してできた仲間たちのおかげでそんな不安も吹き飛びました。それからは毎日がとても楽しく、忙しくあっという間に過ぎていきました。特に寮で過ごした5年間はとても濃いものであり自分の中でかけがえのない思い出になりました。春からは社会人として新しい生活がスタートしますが、高専生活で経験した失敗や成功、身に着けたスキルを大いに活かし社会に貢献したいと思います。最後に高専生活で出会った仲間、先輩、後輩、教職員の方々、両親へこの場を借りて感謝します。ありがとうございました！



7年間を振り返って

電子機械システム工学専攻（電気電子システム工学科出身）
和田 直也

本科も含めて長岡高専で過ごした7年間は、自分にとって忘れることができない一生の宝物になりました。本科4年から始まる研究室配属からの創造研究、卒業研究、電子機械システム特別実験が一番思い出に残っており、研究を通して、入学当初の自分からも想像できないほど成長したと思います。初めて所属する研究室に行った時、先輩たちが優しく迎え入れてくれたことが嬉しく、また、1つのプロジェクトに対して、研究室全体で真剣に取り組んでいる姿を見た時、当時、やってみたくらいから来ましたと軽く考えていた自分はなんて馬鹿だ！と、泣きたくなるほどの衝撃を受けたのを覚えています。それからはというものの、先輩たちから学んだり、自分で考えたり、先生から怒られたり、後輩たちに教えたりと、一つ一つの積み重ねが、今振り返ってみて、大切な思い出になったのだらうと思います。

最後に、研究室で約3年間指導して下さった片桐裕則先生をはじめ、お世話になった方々へこの場をお借りして心から感謝します。



高専での7年間

電子機械システム工学専攻（電子制御工学科出身）
三間 良明

長いようで短かった高専生活も終わりに近づき、共に過ごした仲間、7年間通った校舎や高専坂との別れを寂しく思います。振り返ると勉強、部活、研究とたくさんの方がいて、思い出が詰まった高専生活でした。部活に入っていたからできた経験、高専に入ってからできた経験などもあり、充実した日々を送れました。

また、この7年間で先輩、後輩、友人と多くの人と出会うことが出来ました。高専生活ではレポートや研究などで

大変なことも多くありましたが、乗り越えることができました。これは多くの人に支えられたからであり、人との出会いに恵まれていたと思います。これらの経験や人との出会いは自分にとって大切な財産であり、これからの人生の糧となると思っています。

最後に、高専生活を通して多くの教職員の方々をはじめ、先輩や、後輩、友人には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



高専生活を振り返って

物質工学専攻（物質工学科出身）
豊永 詞

時間、君の飛ぶスピードは速すぎるだろう！！

私は4年生までの期間は長く感じましたが、最近では5年生以降の出来事が昨日のここのように思える程、期間が短く感じています。これは一般に、年をとる毎に時間の流れを速く評価してしまうことが原因とされていますが、私の場合は生活の充実度もあると思っています。

本科生の時は、ひたすら先生方が教えてくれる勉強をしているだけの毎日で、その中に面白さもありましたが、何か味気無さを感じていました。しかし専攻科に入学し、研究室でほぼ毎日研究をし、成果をまとめて学会等で発表をし、様々な学校、企業の方々とも交流する機会があり、非常に充実していたと感じます。この7年間を通して、学問に携わり、研究をして科学の追及をすることの魅力に気づくことが出来ました。まだ高専に在学する学生は、充実できるようなことを見つけて卒業できるように頑張ってください！

最後に在校生、教職員の方々、特に研究室で指導して下さい荒木秀明先生にこの場をお借りして心からお礼申し上げます！



さよなら高志台

環境都市工学専攻（環境都市工学科出身）
阿部 真之介

私の高専生活に終止符がうたれました。今思い起こせば長かったようで短い7年間でした。学力ギリギリで入学したドがつくほどの田舎もんでしたが7年間無事に単位も落とさずにやってこられました。この7年間で私の人生が決まったと言ってもいいほど有意義な時間を高専で過ごすことができたと思います。

本科生の時は、勉強もほどほどに部活を頑張っていました。バスケットボール部に入り、全国高専大会に2回ほど出場することができました。5年が終わると、なんだかんだで専攻科に入学しましたが、楽しい人ばかり残ったため特に思い出に残る2年間で過ごせました。カ〇ル釣り行って焼いて喰ったり、夜の海にカニを獲りに行ったり…と振り返れば武勇伝はまだありますが紙面（モラル）の都合上割愛します！仲間と過ごした日々は本当に最高でした。そして、この7年間でたくさんの方と出会うことができました。高専に来てよかったです。



さよなら

機械工学科5年
レーチェン ハイ

長岡高専の入学式は私の頭に昨日のようです。そろそろ卒業式が来ます。時間は風のように早く通ってしまいました。機械工学科5年の皆さん、クラスであまり話していませんが、皆さんの毎日頑張っている姿はすばらしいです。これから、一人一人が違い道で進みかもしれませんが一緒に頑張りましょう。私は長岡高専の専攻科に進学するのでもし暇があったらまた一緒に遊びましょう。先生方々、いつもやさしく見守ってくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

私は高専に入る前にも2年間日本語を勉強してきました。そして高専での3年生と4年生の時も日本語の授業がありましたが、やはり日本語は何年間勉強しても難しい言語だと実感しました。分からない時は友達や先生などが言葉の意味を説明してくれたりして勉強になりました。日本語クラスは楽しかったです。松田先生と話しながら、日本語を学びました。他の国の同級生と勉強しますのでその国の習慣なども分かって面白かったです。それでは、さよなら！



またお会いしましょう

物質工学科5年
ヌル シュハダ ビンティ モハマド アズリ

もう3年も過ぎてしまったとは、信じられません。でもそれはずっとみんなのご親切と友情に私が支えられていたからです。

日本語がまだ慣れていない私は勉強や授業などの色々なことに困っていました。しかし、同級生や先輩達から勉強に手伝ったりするなどの助けをもらいました。また、先生方がおしゃべりする時間をとってくれたり、私の疑問に答えたり、色々な新しいことを教えてくれました。本当に感謝していて、みんなの誠実で愛情を持った親切を私は決して忘れません。

高専でいる間に、私の考え方や性格などが成長したといます。私は元々無口で、話しかけなければしゃべらない人でした。しかし、友達や先生方に声をかけられたときはうれしくて「みんなと仲良くなりたいな」と思ったので

もっと友好的な態度をとりました。それで、今の私は昔より積極的になって、日本人や留学生などと交流して、仲良くなりました。

みんなに「さようなら」を言いたくないですがそのかわり、「またお会いしましょう。」でお別れの挨拶をします。



Thanks for everything

環境都市工学科5年
チウ アイ イン

時間が経つのは本当に早いもので、そろそろ「別れ」の時間になってしまいました。この3年間は、私にとって非常にすばらしい経験となりました。今でも自分が日本に留学できて、長岡高専で勉強しているということは、とても信じられないことだと思っています。

この3年を振り返ると、幸せなこともつらいこともたくさんありましたが、そのおかげで自分がここまで成長できたんだと思います。悩みや分からないことがあった時には、先生方がくれた優しい言葉とアドバイスのおかげで乗り越えることができました。長岡高専で学んだ知識を今後の人生に生かして、頑張っていきたいと思っています。そして、いつもそばにいてサポートしてくれた友達がいるからこそ、とても充実した高専生活を過ごせました。私にとって皆は家族のような存在です。これからはそれぞれの道に分かれますが、思い出と友情は永遠に続きます。3年間大変お世話になりました。

私の高専生活に関わってくれた皆さんへ深く感謝し、お礼を申し上げます。長岡高専での3年間は非常にいい経験になりました！この貴重な思い出は一生忘れられないです。ありがとうございました。



長岡高専、大好きです！

いつか、絶対また戻ってきます。^-^



ありがとうございました

環境都市工学科5年
コスタンザ アルティア ニゴル

長岡高専に編入してから、あっという間にもう3年間が経ちました。日本に来たばかりの頃、日本語があまり上手ではなかったし、日本の文化もまだ慣れていなかったし、大変でした。ですが、クラスの友達、寮の友達と先生方が色々なことに助けてくれて、教えてくれたから、それを乗り越えることができました。この3年間で大変なことがあります、楽しいことももちろんあります。

高専に来てから、ホームステイ、スケート研修、研修旅行、留学生旅行などを体験することができて、たくさんのいい思い出もできて、本当に良かったです。そういう活動を通して、日本の色々な文化を味わうこともできました。この貴重な経験はいつまでも忘れられないです。先生方とクラスの友達、この3年間で大変お世話になりました。心の底から感謝します。

最後は「Every goodbye makes the next hello closer」。チャンスがあれば、また会いましょう。



さよなら、高志台

環境都市工学科5年
グエン ティ ミン ヒエン

3年間、それは私にとって長岡はどんなところなのかを分かるために十分な時間でした。長岡の土地・人間・環境そして長岡高専、すべてが私の中で当たりまえの存在になりました。楽しいこと、悲しいこと、辛いこと、全てを私費留学生として長岡高専で生活した中で経験しました。そして、自分がかもっと成長して、もっと強い人間にならないといけないということも感じようになりました。

もうこの土地から離れないといけないと考えると、とても悲しいです。長岡の雪、花火、高専の隣の悠久山公園で

のBBQ、売店の優しい番場さん、教室から見た夜景、テスト期間の勉強会、留学生のための旅行、夏の出雲崎の海、クリスマスの越後丘陵公園のイルミネーション、冬のスノーボード、そして私の親友、たくさん思い出をありがとう。これから、何処へ行っても、どんな仕事してもここで過ごした3年間のことは絶対忘れません。

“Thanks for all, guy!”



ありがとう長岡高専

物質工学専攻2年
ヴァナディアン アスタリ スチ アティナ

長岡高専に本科1年から入学して、あっという間に7年が経ちました。私は本科卒業後、専攻科に入学したため、小学生の6年間より長い、7年間にこの長岡高専で過ごしました。

在学中は、楽しいことも大変なこともたくさんありましたが、今思い返すと全て楽しい思い出です。また、高専で同期や先輩、後輩とたくさんの人に出会うことができ、勉強や研究まで全て一生懸命に励むことができました。長岡は四季がはっきりしているため、季節ごとのイベントがたくさんありますし、美味しい食べ物もたくさんありました。そのため、友人とたくさん遊ぶことができ本当に充実した7年でした。

最後に、高専生活において多くのご指導をいただきました指導教員をはじめとした教職員の方々へこの場を借りて感謝申し上げます。人生の7年間にこの恵まれた勉学・研究環境である長岡高専で過ごすことができ本当に良かったです。Terima Kasih dan sampai jumpa lagi. (ありがとうございました。またお会いできるまでお元気で。)





定年を迎えて

一般教育科 佐藤 公俊

この3月で定年退職となります。長岡高専赴任以来30年間、家内をはじめ、皆様から支えていただき、何とか勤めることができました。皆様に心より感謝いたします。

近年は人生「老いやすく学成り難し」の感があります。諸々の論文や共著書は出しますが、自分の包括的見解の著作が未完成で、何とかまとめたと思っております。

30年間で印象深いことは、中越大震災で被害を受けた本校が皆様のご努力とご支援で見事復興を遂げ、私もお手伝いできたことです。4年前の東日本大震災の原発事故からの避難者は今も県内に数千人、長岡市に数百人います。継続した支援が必要です。

各学科の担任をするたびに、学生たちを何とか進級させようと頑張って励ましました。また、科目を教えた学生が立派になって本校に赴任し、同僚として話したのも感慨深いことでした。

インターアクトクラブの顧問を29年間務め、国際ロータリー第2560地区インターアクト年次大会も三度主管しました。とくに、知っておいていただきたいのは、インターアクト部員の双葉寮訪問ボランティアです。40年近く代々継続して自主的に活動してきた部員たちに感謝しています。部員たちは留学生との国際交流や沖縄高専生との多文化交流も盛んに行っています。

今後も長岡高専の発展と学生諸君の成長を願い、それに貢献したいと思います。あと少し仕事を続けますが、茶飲み話などお付き合いいただければ幸いです。



終わり良ければ...

一般教育科 相原 勝

ちょうど30年、在職しました。4、5年生のドイツ語をおもに担当しました。5年生の「文学」もやりました。「文学」では、ずっと宮沢賢治の童話を読み、その素晴らしさを、私自身が学ぶことが多かったように思います。専攻科の「欧米文化論」では夏目漱石の文明論をあつかい、こちらも、その、くみつくせぬ偉大さをそのたびに感じたものです。

在職中、いちばん嬉しかったのは、ドイツでの在外研究を3回、それぞれ3ヶ月させていただいたことです。おか

げさまで、定年直前に、それまでの研究を出版することができました(『ツェランの詩を読みほく』[みすず書房])。

クラブの顧問は、文芸部でした。若い頃は部員たちと一緒に演劇をやり、これは、忘れがたい、とてもよい思い出です。

クラス担任は7回やりました。そのたびに、つらい問題に直面し、十分対応できなかったこともあり、悔やまれます。しかし、昨年度卒業した最後の担任クラス(写真)が本当に楽しかったことが、何よりのなぐさめです。研究も含め、「終わり良ければすべてよし」ということで、静かに去りたいと思います。みなさん、長い間ありがとうございました。



思い出

一般教育科 涌田 和芳

高志台に来て長い時間が経ちました。校舎も住人もすっかり変わってしまいましたが、廊下を歩いていると、先輩の先生方からひょっこりと声を掛けられそうな気がします。高志台のあちこちにそんなところがあります。

20年程毎年、近藤先生、土田(実)先生、(小林)壮一先生と山に登ったことが懐かしく思い出されます。まだ半ドンのあった頃、土曜日の午後にてかけて清水に泊まり、巻機山頂を目指したことも何度かありました。北穂の大キレットを縦走したときに、壮一先生から「もうどこでも登れる」といわれたことを、今でも嬉しく覚えています。その後も足を伸ばしましたが、改築された北穂の小屋を見に行ったのが最後だったように思います。

この3月まで担任をしましたが、今まで担任をした学生のことは特別に記憶に残っています。卒業生も人生の波や時代の波に揉まれているようです。彼らの幸せを祈るばかりです。担任の仕事もそうですが、未熟であったことを今更ながら恥じているところです。本当に多くの方のお世話になりました。心より感謝いたします。



卒業生・修了生表彰 進路状況

卒業生・修了生表彰

長岡高専の学則に定める賞 (学科)

功労賞	物質工学科	江部日南子
精励賞	電気電子システム工学科 電子制御工学科 物質工学科 環境都市工学科 環境都市工学科	齋藤 雅也 齋藤 佑樹 長田 剛 井比 亨 CHEW AI YIN
皆勤賞	機械工学科 機械工学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電気電子システム工学科 電気電子システム工学科 電気電子システム工学科 電子制御工学科 物質工学科 物質工学科 環境都市工学科 環境都市工学科 環境都市工学科	北村 龍司 木原 心 武藤 吉政 小片 諒 佐藤 健介 内藤 拓海 吉原 健斗 高橋 仙子 江部日南子 小林香菜子 井比 亨 風間 裕也 品川 彰

(専攻科)

特別表彰	物質工学専攻	牧野 理紗
------	--------	-------

各種学会賞等

日本機械学会	畠山賞	機械工学科 佐藤 広直
--------	-----	-------------

第24回 電気学会東京支部新潟支所研究発表会	優秀発表賞	電気電子システム工学科 山口 圭介 電子制御工学科 長橋 健太
------------------------	-------	------------------------------------

第4回 高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム	優秀ポスター賞	物質工学科 江部日南子
-------------------------	---------	-------------

日本化学会関東支部	支部長賞	物質工学科 長田 剛 物質工学科 NUR SYUHADA BINTI MOHAMAD ADZLEE
-----------	------	--

全国高専土木工学会	近藤賞	環境都市工学科 井比 亨
-----------	-----	--------------

日本機械学会北陸信越支部賞	学生賞	電子機械システム工学専攻 渡邊裕太郎
---------------	-----	--------------------

電子情報通信学会信越支部	学生奨励賞	電子機械システム工学専攻 大脇佑二郎 電子機械システム工学専攻 古田島裕斗
--------------	-------	--

日本コンクリート工学会	第36回コンクリート工学講演会 年次論文奨励賞	環境都市工学専攻 荻澤 洋平
-------------	-------------------------	----------------

同窓会長賞

バレーボール部	電気電子システム工学科 電気電子システム工学科	五十嵐達生 中山 祐一
柔道部	環境都市工学科	品川 彰
ロボティクス部	機械工学科 電気電子システム工学科 電子制御工学科	木原 心 高橋 佑介 関 龍

進路状況 (3月19日現在)

学科

学科名	区分	卒業者数	進学者数	就職者数		その他
				県内	県外	
機械工学科		39	27	6	6	0
電気電子システム工学科		36	21	6	7	2
電子制御工学科		37	31	3	3	0
物質工学科		41	26	4	9	2
環境都市工学科		35	24	5	6	0
計		188	129	24	31	4

専攻科

専攻科名	区分	修了者数	進学者数	就職者数		その他
				県内	県外	
電子機械システム工学専攻		21	9	3	9	0
物質工学専攻		9	2	3	4	0
環境都市工学専攻		7	3	1	3	0
計		37	14	7	16	0

専攻科だより

専攻科特別研究発表会

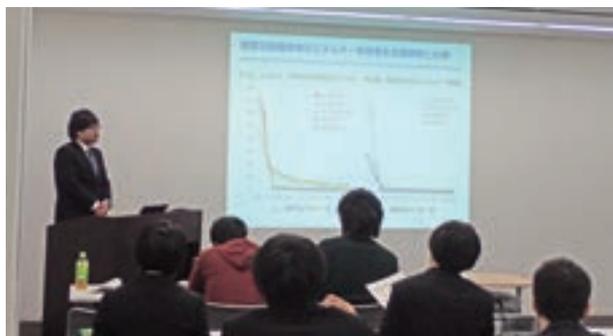
平成 27 年 1 月 23 日に、アオーレ長岡において 3 専攻の平成 26 年度特別研究発表会（専攻科 2 年生）および特別研究中間発表会（専攻科 1 年生）が開催されました。今年度、専攻科 1 年生は、例年のポスター発表に加えて、英語による 3 分間のショートプレゼンテーションが実施されました。各専攻とも、教職員と技術協会会員の参加を得て、発表学生との間で、活発な質疑応答が行われました。その後、ホテルニューオータニ長岡にて、表彰式と懇親会が行われました。

特別研究発表会を終えて

環境都市工学専攻 2 年
加藤 健太郎

平成 27 年 1 月 23 日にアオーレ長岡にて、第 14 回専攻科特別研究発表会が開催されました。専攻科 2 年生は、2 年間の研究成果についての口頭発表を、専攻科 1 年生は、これまでの成果について、英語でのショートプレゼンテーションとポスター発表を行いました。

私は、この専攻科特別研究発表会を通して、「わかりやすく伝えること」の難しさを感じました。口頭発表では、会場や聴講者に合わせて、発表を構成し、講演することが必要です。そのため、私は、本科から継続してきた研究テーマについて、その成果を短時間で明瞭に説明するために、どのようにまとめ、発表したら、よりわかりやすいのかを考えました。当日の口頭発表は、改善点の残る内容でしたが、これまでの研究成果を伝えることができたと思います。このような発表の機会は、研究に限らず、今後の様々な場面で訪れるため、「わかりやすく伝えること」の努力を継続していきたいと思います。



特別研究発表を終えて

電子機械システム工学専攻 1 年
庭野 千紘

1 月 23 日に行われた特別研究発表会にて今までの研究の成果を発表してきました。専攻科 1 年生である私は英語による 3 分間のショートプレ

ゼンと、ポスターによる発表を行いました。英語によるショートプレゼンは今までに経験したことが無く、英語科の先生にアドバイスを頂きながらどうにか発表を終えることができ、とてもいい経験になりました。その後のポスターによる発表では、異なる分野の先生や他学科の先生からも様々な意見、質問をいただくことができ、大変有意義なものでした。研究の内容だけでなく、自分自身のプレゼンの仕方を改善する必要があると改めて感じました。聴講者に、自分の研究に興味を持ってもらい、聞いてみたいと思わせるような発表ができるように日々精進したいと思います。

来年度は、研究に取り組むだけでなく、卒業後の進路を決める必要があります。研究、進路ともに悔いの残らないように学校生活を過ごしたいと思います。



専攻科特別研究発表を終えて

物質工学専攻 2 年
安部 百恵

昨年に比べて狭い会場での発表となったので、発表側と聞き手の距離が近く、質疑応答がしやすい環境だったと思います。

発表会ではトップバッターということもあり、よい緊張感を持ち、落ち着いて思った通りの発表ができたと思います。高専で過ごした 7 年間で、おそらく最後であろうプレゼン発表だったので、終わった後は解放された嬉しさもありましたが、もうすぐ修了だと思うと、少しさみしくも感じました。7 年間は数字だけで見ると長いように思えますが、終わってみると思いの外短かった気がします。特に専攻科に入学してからの 2 年間は本当にあっという間で、もっと頑張って研究すればよかったと少し後悔もしました。今の専攻科 1 年生やこれから専攻科に入学する学生は学位認定試験や学修成果レポートもなくなるので、私たちよりもずっと充実した研究、発表ができると思います。悔いの残らないように頑張ってください。



高専シンポジウム in 函館

平成 27 年 1 月 10 日に函館工業高等専門学校において、第 20 回高専シンポジウムが開催されました。本校からは、専攻科生 15 名および本科 5 年生 1 名が研究発表を行いました（口頭発表 11 件、ポスター発表 5 件）。全体の発表件数は 338 件（口頭発表 209 件、ポスター発表 129 件）で、材料、化学、生物、環境、機械、電気・電子、情報・通信、建築・土木、工学教育等の分野の発表がありました。開催当日は風雪が強く極寒の函館でしたが、学生達はいきいきとした表情で発表を行っていました。次回は南方の香川で開催予定です。

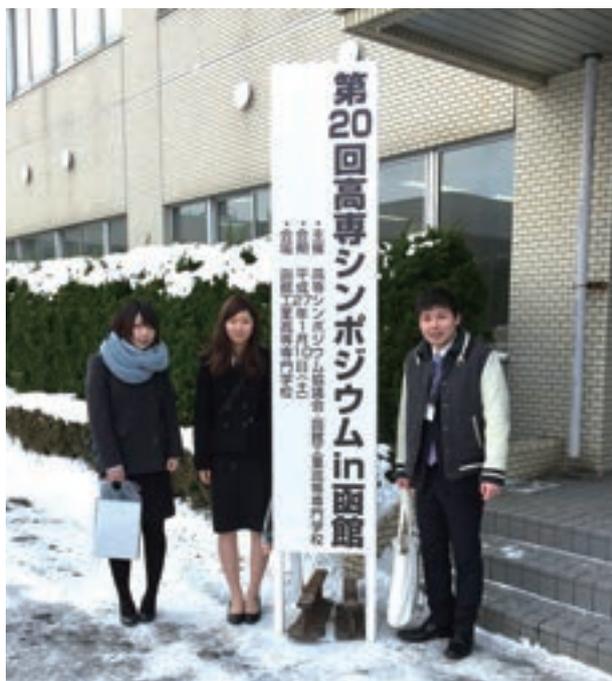


高専シンポジウムに参加して

物質工学専攻 2 年
井嶋 克爾

今年の高専シンポジウムは北海道函館で行われました。学会としては、かなり自由度が高く、周りも高専生しかいないので、とても参加しやすいものとなっています。なので、現在研究を行っている人や、これから研究を行う人は学内発表だけでなく、こうした場で発表の経験をするをお勧めします。高専シンポジウムでは自分の研究分野だけでなく、化学・環境・電気など様々な分野から人が集まるので、自分にはない視点からの意見を頂ける可能性もあります。学年に関係なく発表が出来ることもあり、本当にいろいろな研究が発表されています。今回私が見た中で印象的だったものでは、ちくわに関する研究を行っていました。実際にちくわや、ちくわの缶バッチを配ったりと面白いプレゼンテーションを行っていました。

また、高専シンポジウムは毎年開催地が変わります。去年は福岡で行われました。毎年違った土地を観光出来るのも高専シンポジウムのいいところだと思います。



ISTS2014

平成 26 年 11 月 19 日～21 日に台湾の台北科学技術大学で開催された 4th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS2014) に、本校専攻科 2 年生の渡邊裕太郎君と平片悠河君が専攻科特別研究の内容を英語で口頭発表しました。ISTS は全国の高専、長岡技大、豊橋技大とアジア各国の協定校で工学を学ぶ学生を対象とした研究発表会で、これまでにタイや香港などで開催されてきました。世界は急速にグローバル化が進展しており、工学技術者も海外での勤務や海外の方々と一緒に仕事をする機会を避けて通れません。学生のうちに英語でのコミュニケーション能力や異文化理解の素養を身に付けておく必要があります。今回の ISTS では研究発表のほかに国際的な小グループで夜市などを巡る Student Activity も行われ、学生同士で Facebook のアカウントを交換したようです。



ISTS2014 in 台北と初の海外

環境都市工学専攻 2 年
平片 悠河

今回の ISTS2014 参加で台湾に行き、初めて海外に出ることになりました。当初は海外において英語で発表するということが恐ろしくありませんでしたが、研究室で何度も練習していただき、いろいろ反省点も残りましたが、発表もなんとか乗り切ることが出来ました。英語をローマ字読みしていた自分を指導してくださった先生方には本当に感謝です。

発表後にはこれまた初めての海外観光にいいきました。夜市で肉を食べたり、謎のジュースを飲んだり、小籠包食べたり、そしてなにより日本では見られない景色を見ることが出来ました。テレビで見る海外と実際に見る海外は全く別物で感動しました。自分が今まで見てこなかった物を見ることができ、改めて世界は広いと感じました。自分の知らない物と触れるということは貴重な経験になると思います。後輩の皆さんも海外の研修や学会などに参加してみてください。きっと日本では見られない、私が見た物とも違う新たな世界が見ることが出来ると思います。



1 プログラミングコンテストに参加

平成 26 年 10 月 18 ～ 19 日に、岩手県の一関文化センターで全国高等専門学校第 25 回プログラミングコンテストが行われ、本校からは電算機部のメンバーが競技部門に参加しました。本校チームは敗者復活戦から上位 8 チームに入ることができ準決勝進出を決めました。

2 ロボットコンテスト 2014 に参加

平成 26 年 10 月 19 日にアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2014 関東甲信越大会が千葉ポートアリーナにて開催されました。今大会のテーマは「出前迅速」で蒸籠を数々の障害物を越えて運ぶ出前ロボットの対決でした。本校からは A チーム「S.Carry Go」と B チーム「疾風とどー！！」が出場しましたが、共に初戦敗退となりました。非常に悔しい結果でしたが、B チームは性能の高さが評価され特別賞を受賞致しました。

3 デザコン 2014 in やつしろに参加

本校デザイン部は、平成 26 年 11 月 8 ～ 9 日に熊本県八代市で開催されたデザコン 2014 in やつしろに参加しました。本校デザイン部は、今大会の空間デザイン部門に 1 作品、構造デザイン部門に 2 作品を出展しました。いずれの作品も入賞には、至りませんでした。1 年生 6 名を加えた新たなチームで貴重な経験を積むことができました。

4 豪技！長岡ものづくりフェアに出展

平成 26 年 11 月 8 ～ 9 日にアオーレ長岡で開催された「豪技！長岡ものづくりフェア」に本校から 6 ブース出展しました。

5 関東信越地区高等専門学校英語弁論大会に入賞

平成 26 年 11 月 15 日に「第 29 回関東信越地区高等専

門学校英語弁論大会」が東京都立産業技術高等専門学校（品川キャンパス）で開催され、本校からは、4 名（暗唱の部 2 名、スピーチの部 2 名）が参加し、スピーチの部で機械工学科 3 年の豊島果恋さんが 2 位となりました。

6 宮柵二記念館全国短歌大会で 2 年生 2 名が「秀逸」

第 2 学年では、特別活動で短歌を作り、宮柵二記念館全国短歌大会に応募しました。その結果、電子制御工学科 2 年の山本雄飛君、電気電子システム工学科 2 年の安原雅貴君が「秀逸」に入選しました。

7 片桐教授が HAMAKAWA AWARD を受賞

平成 26 年 11 月 23 日～ 27 日に京都国際会館において開催された第 6 回太陽光発電世界会議において、電気電子システム工学科 片桐裕則 教授が、HAMAKAWA AWARD を受賞されました。本賞は、太陽光発電において傑出した研究や技術および高い創造的成果を挙げた研究者や技術者に贈られるものであり、東京工業大学、小長井誠教授と並んでの受賞です。

8 新潟県化学インターハイで四連覇

平成 26 年 12 月 13 ～ 14 日に開催された第 4 回新潟県化学インターハイに物質工学科の学生が参加しました。今回は過去最多の 12 チームが総合種目にエントリーし、混戦となる中、本校は見事四連覇を果たしました。

9 クラスマッチを開催

平成 26 年 12 月 17 日に第 1 ・ 第 2 体育館を使い、学生会主催による恒例のクラスマッチが行われました。フットサル、ドッジボール、バレーボール、バスケットボール、大縄跳びの 5 種目について、各クラス・専攻科生・教職員に分かれて対抗戦で熱戦を繰り広げました。

それぞれのトピックスの詳細は本校ホームページをご覧ください。 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/zaikou/28563.html>

